細腕なんて言わせない!!

307

〝働くのが好きなんです〟

「好奇心の塊なのよ」と話す　熊谷　明美さん

■やきとり「くま」代表
■いわき市小川町芝原字岩下三九ノ一
電話／〇八〇―五七三八―一一四七

「昔からね、好奇心、それに知らないことを知りたい、という性格でねぇー。今の仕事、もちろん楽しいですよ。まだ頑張ります」と、笑顔で話す熊谷さん

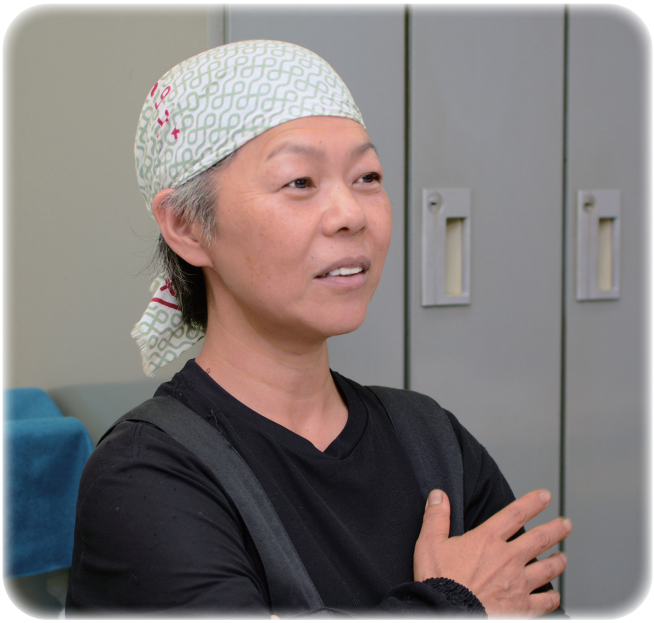
人にはプラス思考型もいれば、マイナス思考型も少なくない。しかし、同じ人生を歩むなら、やはりプラス型に軍配が上がるのは、自明。

「私、好奇心と興味の塊なんですよ。子どものころからね」と、プラス型を自認しつつ、にこやかに語り続ける熊谷明美さん（五五）。育児、離婚、再三、再四の転職を繰り返しながら、二〇一一年の大震災の翌年に〝天職〟を見つけ、やきとりの移動販売を始めて十年が過ぎた。

「いろんな人にお世話になったんだから、恩返しできるような仕事をしたらどうか」。四人兄妹の二番目として広野町に生まれた熊谷さんは、社会での生き方が見つからないでいた高校時代、母親からよく言われていたこの言葉がヒントになり、准看護師の道を目指した。

卒業後は、資格を持っていわき、埼玉などで白衣の仕事に入った。縁あって二十三歳の時に結婚したが、ある事情で五年後に離婚し、子どもを連れていわきへUターン、仕事探しに入り、介護施設や

移動車を駆使し、市内各地でフル回転



「生活に困らない程度かな」

クリーニング会社に勤める。

そんな折、市内の酒店の前でやきとりの移動販売車（店）を見つけ、車の中で肉を焼いていた女性店主に声をかけた。これが、始まりだった。

「知らないことをやってみたかったのよ。それに、今まであちこち勤めはしたけど、自営はなかったのよ。だから、『やってみたい、やりたい』の気持ちがわいてきてね。そのころの生活はどん底だったし。私ね。這（は）い上がる過程が好きなんだよねぇー」

定番のメニューは14種

十余年前のきっかけを明るく語る熊谷さんは、フランチャイズの店で半年ほど修業。独立を目指して経理の勉強、帳簿の付け方、商品仕入れのための情報収集などにも励む。そして、一二年に「くま」を立ち上げ、営業車の「カスタムカー」を市内に繰り出してスタート、フル回転の十年が過ぎた。

現在の「くま」のエリアは、平地区を中心とし、計六カ所。定番のメニューは、もも、かしら、タン、レバーなど十四種類。値段は一本百二十円から百六十円ほど。これらの地区を週に一度、午前中に仕込みを終えた後、午後三時から同八時まで開店。休みは日、月曜日。

「おかげさまで常連さんが多いんですよ。小学生からお年寄りまで、ね。毎日が楽しくて。息子たちからも『楽しいべ』なんてよく言われたりして…。苦労？　ドロ沼から立ち上がるのが結構好きだから」と満面の笑顔で続け、「利幅は小さいけど食べていければ。生活に困らない程度ですよ」。

休日には実家の広野に住む母親のもとを訪れ、〝本職〟に戻って看護、入浴などの介護にも精を出し、話し相手にもなってくる、という。

朝晩は一時間ほど愛犬の散歩で体力をつけて踏ん張る熊谷さんは、「うちは客層がいいんですよ。働くの好きなのでこの仕事をずっと続けます」と語った後、「今の社会、政治やネットに何が本当か疑問を持っている人が少なすぎるわね。若者たちも忍耐？　いや、闘争心がなさすぎる気がするし。特に男の子たちはきれいに生きすぎ」と、昨今の風潮に対し〝苦言〟を呈していた。

プロフィル

くまがい・あけみ

1967年2月14日生まれ、広野町出身。「私、絶対にオス、性格がオスなんですよ」。知らないことを探求するのも好きなタイプらしく、「いろんなことにおう盛なんです」。明るさも取りえのようで、誰とも気さくに交流。「おばちゃんとこ1番うまいと言われるとうれしいですよね」と、にっこり。料理は「好きではないけど、作るのは和食系」。O型

※このコーナーは隔月掲載です。

■お知らせ＝このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

茶の心・自然への思い

九世 吉向松月 陶展

◆会期 令和4年9月1日（木）～9月6日（火）

ごあいさつ

今回は、吉向焼の伝統的な茶陶の作品に加えて、従来から取り組んでいる風景の作品をご覧いただきます。

独自の釉薬を使って自然の風景を陶器にうつしだす試みは伝統的な茶道具の制作の中にも、常に自然と共にある「茶のこころ」に通ずる意味を見出すことができたと思っております。

何卒、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

令和４年８月吉日　九世 吉向松月

赤窯変水指「夜明け」

花器「山並」

九世 吉向松月（孝造）略歴

一九五四年　吉向窯七世松月の次男に生まれる
一九七二年　京都市立日吉丘高校陶芸科卒業
一九七七年　大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻卒業
吉向窯にて作陶を始める
一九七八年　大阪工芸展に出品（以後毎年入選）
一九八二年　大阪三越にて初の個展を開催
一九九五年　大阪府産業文化功労者表彰
二〇〇六年　大阪府知事表彰
九世 吉向松月襲名
二〇〇七年　大阪工芸協会理事
枚方工芸会幹事

有限会社 小野美術　営業時間 午前10時～午後6時（最終日は午後5時閉場）

いわき市平字中町22番地の2　Kビル1F　☎0246-35-0383

HP：http://onobijutsu.jp　e-mail：onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp